

学 校 だ よ り



7月号

平成29年7月3日

NO. 341

横浜市立茅ヶ崎小学校

校 長 宮崎 美代子

ちいき がっこう 「地域とともにある学校」

校長 宮崎美代子

あじさい はな うつく きせつ ちがさきこうえん なつ むかえ かん
紫陽花の花が美しい季節となりました。茅ヶ崎公園も夏を迎えているのを感じます。子どもたちは、
ひび おんけい どうこうとちゅう み
日々その恩恵にあずかっており、登校途中にかたつむり、カナヘビ、コクワガタ、ダンゴムシ等を見つけ
くちぐち ほうこく なか にぎ せんじつ しぜんせいたいえん
たと口々に報告してくれます。中には、そっと握りしめてくる子もいます。先日、5年生は、自然生態園の
ただい きょうりやく ぶじ しるか たう かつどう あたま ぜんしんどろ
多大なご協力により無事に代掻き、田植えの活動をする事ができました。頭から全身泥だらけになっ
ほんどう めった きちょう たいけん みなさま
ての活動は、本当に減多にない貴重な体験になったことと思います。地域の皆様には、2年生のまち
たんけん ばたけ ちいき せわ かんしゃもう あ
探検やサツマイモ畑、3年生の地域探検等でもお世話になっています。感謝申し上げます。

れんけい じゅうらい ひら すす いま いっぽふ こ
地域との連携は従来から「開かれた学校づくり」として進められてきましたが、今はさらに一歩踏み込
んと「地域とともにある学校」であることが求められています。これは、①子どもを軸として、お互いが
いけん だ あ そういくふう
意見を出し合い、その地域ならではの創意工夫をいかした学校づくりを進めていくこと、②それぞれの
しげん さいてき く はく きょういっかつどう じっせん ほんえい
資源を最適に組み合わせ、子どもたちを育てていくこと、③教育活動の実践に地域のニーズを反映
いみ かんが もくひょう
させることを意味しているものと考えます。そのためには、地域の人々と学校が教育目標やビジョンを
きょうゆう いっしょ きょうどう じゅうよう こんねんど むす
共有して、一緒に協働するパートナーであることが重要です。今年度、地域と学校を結ぶ『学校・地域
コーディネーター』を福知康文さん(本校第13代PTA会長)と細野純人さん(本校第15代PTA会長)
ねが さっそく
をお願いすることができました。福知さん、細野さんには早速『学校・地域コーディネーター』としての
けんしゅう じゅうこう いぜん さまざま かたち しえん
研修も受講していただいています。以前から、様々な形で学校支援をしてくださっているお二人ですが、
つな やく かつやく かんけい めん
今後、学校と地域を繋ぐパイプ役として更に活躍して下さることにより、学校と地域との関係がハード面
せいび みりよくてき
でもソフト面でも整備されていくものと思います。「茅ヶ崎のまち」がますます魅力的なところとなり、その
じっげん き
中で学校教育が実現していくことを願っています。お気づきの点などありましたら、ぜひご意見をお寄せ
さいわ
いただければ幸いです。